

製品名: COPS3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84547**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	48 kDa

抗原情報

遺伝子名	COPS3
別名	COP9 subunit 3; cops3; CSN3; JAB 1 containing signalosome subunit 3; SGN3; Signalosome subunit 3;;COPS3
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UNS2
免疫原	ヒト COPS3 由来の合成ペプチド

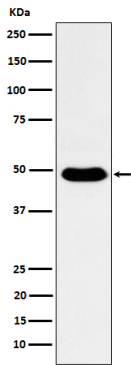
背景

COP9 シグナローム複合体 (CSN) の構成要素であり、様々な細胞プロセスおよび発生プロセスに関与する複合体です。CSN 複合体は、SCF 型 E3 リガーゼ複合体のカリンサブユニットの脱ネディル化を媒介することで、ユビキチン (Ubl) 結合経路の重要な調節因子であり、SCF、CSA、DDB2 などの SCF 型複合体の Ubl リガーゼ活性を低下させます。また、この複合体は、CK2 および PKD キナーゼとの会合を介して、p53/TP53、c-jun/JUN、IkappaBalpha/NFKBIA、ITPK1、IRF8/ICSBP のリン酸化にも関与していると考えられます。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の COPS3 発現のウェスタン ブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

